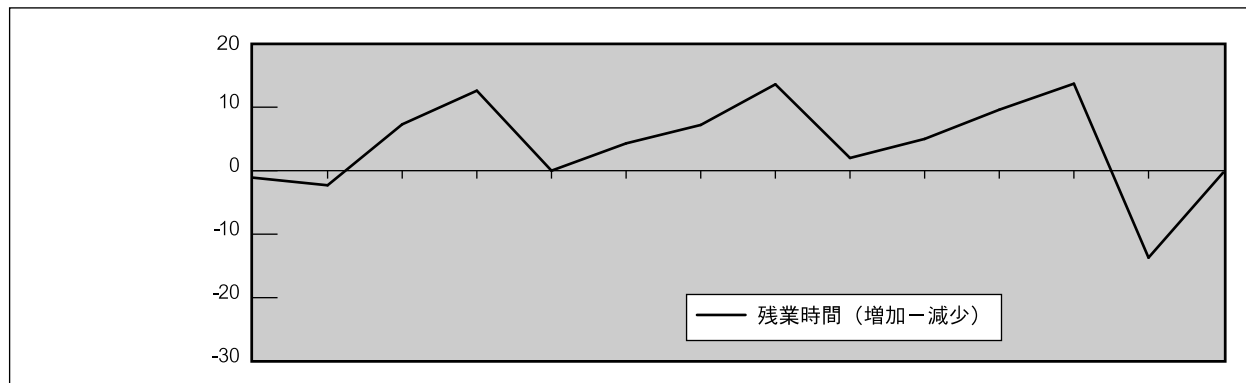


VIII. 労務事情

残業時間

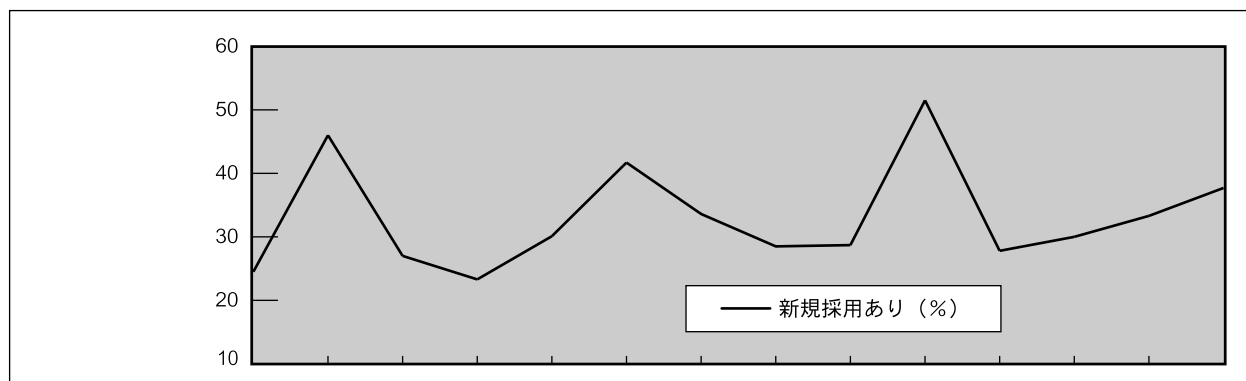
種別	(%)														見込	予測
	16年				17年				18年				19年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月		
増加	18.8	14.4	19.1	25.4	20.2	19.6	19.1	24.6	19.5	19.4	17.2	22.5	10.3	12.9		
横ばい	61.2	68.9	69.1	61.7	59.7	65.0	69.1	64.3	63.1	66.2	75.3	68.7	65.7	74.0		
減少	19.9	16.7	11.8	12.8	20.2	15.3	11.8	11.0	17.4	14.4	7.5	8.8	24.0	13.1		
D.I.	-1.1	-2.3	7.3	12.6	0.0	4.3	7.2	13.6	2.0	5.0	9.6	13.7	-13.7	-0.3		



- (1) 残業時間（増加－減少）D.I.18年10-12月期は、前期比プラス4.1ポイントとなったが19年1-3月期見込み、4-6月期予測ともD.I.はマイナスとなる。特に19年1-3月期見込みは、▲27.4ポイントと大幅に減少する見込みとなっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

種別	(%)														見込	予測
	16年				17年				18年				19年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月		
全産業	24.5	46.0	27.0	23.3	30.0	44.8	33.1	28.9	32.0	48.2	26.9	29.9	29.5	39.5		
(うち製造業)	26.6	49.2	28.4	25.6	29.7	48.2	32.5	29.3	35.5	44.5	25.9	29.9	25.3	41.6		
(うち非製造業)	22.7	43.1	25.7	21.1	30.1	41.7	33.6	28.5	28.7	51.5	27.8	30.0	33.3	37.7		



- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、非製造業の採用について増加傾向が見られる。